

洞爺湖有珠山ジオパークの ジオストーリーを伝える絵本の作成

洞爺湖有珠山ジオパークは、火山を中心としたジオパークである。地域内には広大な農場が広がり、野菜、果物などの一大生産地となっているが、耕作地は洞爺火山、有珠火山の火山灰と軽石を多く含み、適正なpH値と水はけのよい土質で農業生産に適している。また、有珠山周辺ではさまざまな森林の遷移過程が見られ、それぞれの環境に即した生きものが棲むことで多様性を支えているが、これは近年の有珠火山の噴火で攪乱と再生がくり返されているためである。このように、地域の産業や人々の暮らし、生物の生息環境の背景にあるものに目を向けると、大地の活動と結びつく隠された物語「ジオストーリー」を無数に見つけることができる。2014年、洞爺湖有珠山ジオパークではこのようなジオストーリーを拾い集め、地上と地下の世界を結びつける大地の断面絵本『洞爺湖有珠山ジオパーク・ストーリーブック』を制作した。地域の大人から子供まで広く読まれるよう、平明な文章とイラストで構成しており、今後の活用を広げる。

大地の上でめぐる、1日の物語

この地域を象徴する洞爺湖や、その中央に浮かぶ中島、湖畔にそびえる有珠山は火山です。

この地の人々や森の生きものは、古くから火山と共にありました。

しかし、火山の噴火や、その周りの地下の世界がどうになっているのか、私たちはあまり知りません。



その中身を覗き、地上世界との関係をひも解くと、さまざまな物語が見えてきます。

さあ、この本を片手に、『大地の物語』を見つけに行きましょう！

対象：ジオパークで暮らすおとな

